

# 河川とダム事業が効果を発揮

梅雨前線及び台風5号の影響により、7月17日から7月22日にかけて、五島対馬地方では記録的な大雨となり大雨特別警報が発表されました。上五島地区では、平成元年9月に発生した災害以降に実施された災害復旧事業やこれまでの河川とダム事業が効果を発揮し、床上床下浸水が0戸と被害が大幅に軽減しました。

## 3. 河川とダム事業の効果

○上五島地区では川の拡幅や橋の架け替えなどの河川改修、青方ダムの洪水調節により、洪水時の川の水位が低下し、浸水被害はありませんでした。

平成元年

被害  
床上浸水：68戸  
床下浸水：607戸

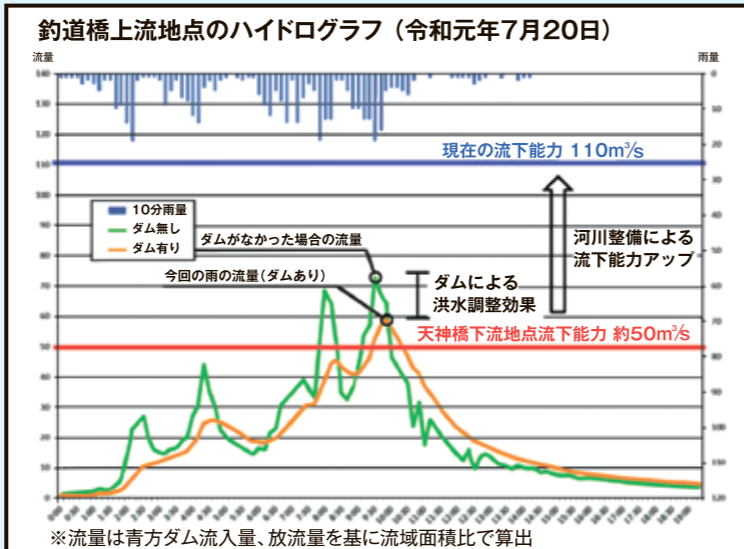
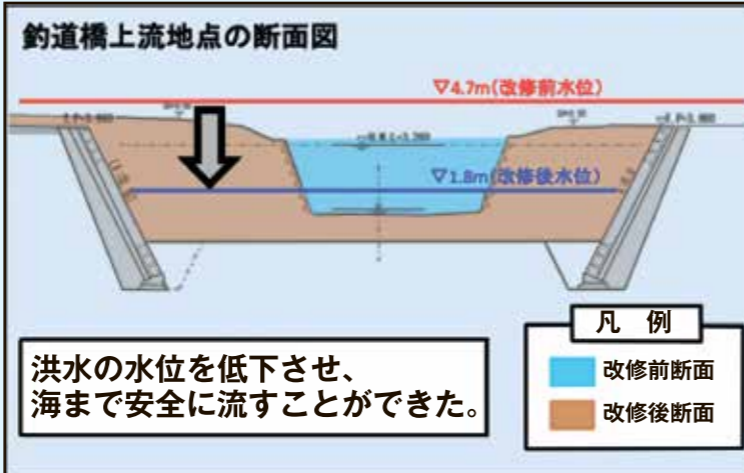
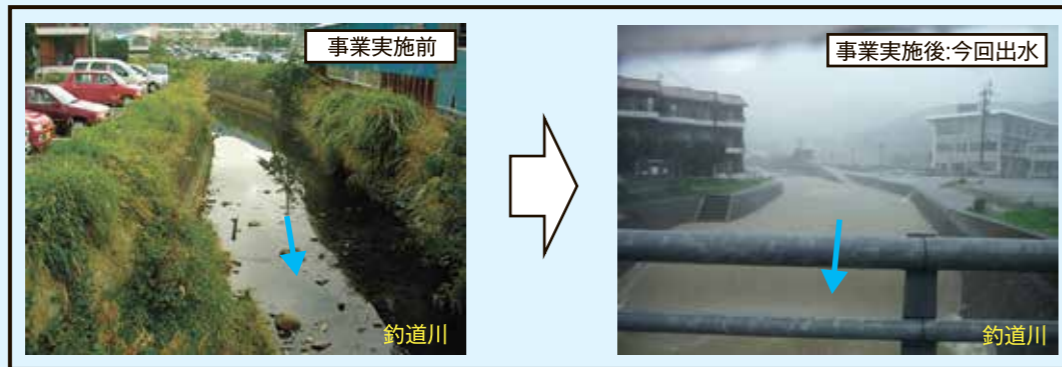
令和元年

床上浸水：0戸  
床下浸水：0戸

釣道川の治水対策事業

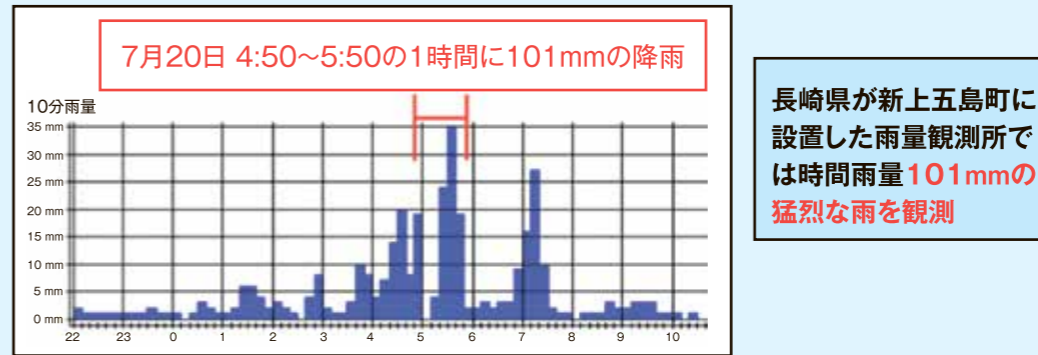
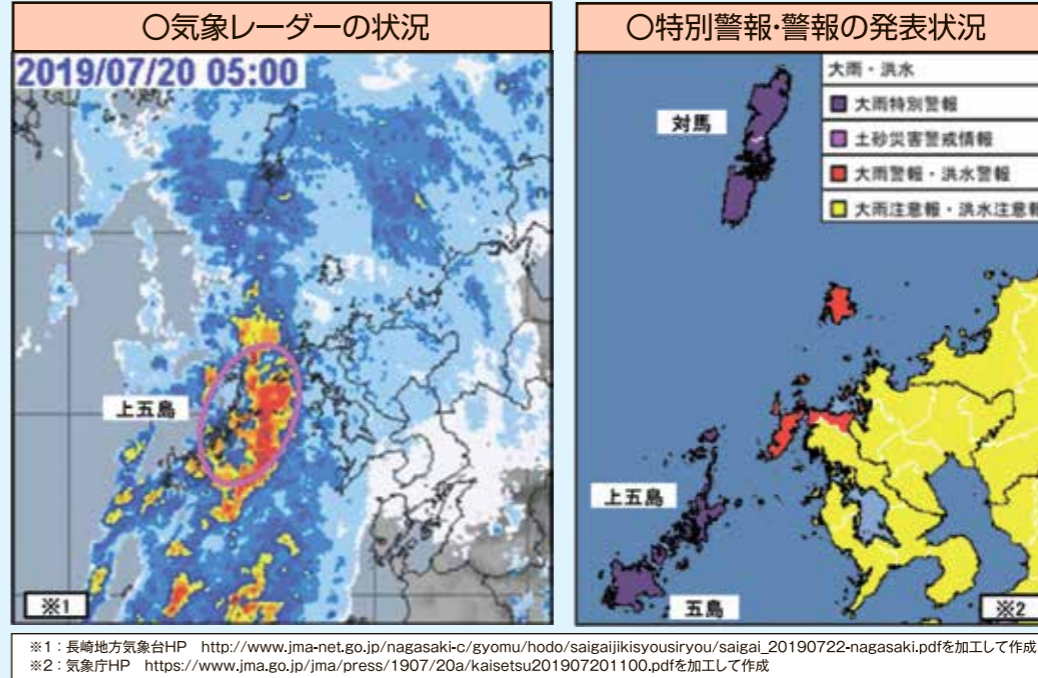
○釣道川の河川改修工事(総合流域防災事業)  
平成4年度～令和4年度(計画規模1/50)  
流下能力:平成元年度 約50m<sup>3</sup>/秒⇒現在 110m<sup>3</sup>/秒

※なお、昭和59年に青方ダムが完成し、平成元年災害時にも流木が捕捉されたことにより、被害軽減効果があった。



## 1. 降雨と警報の状況

○長崎県の五島と対馬では数十年に一度の記録的な大雨となり、7月20日に大雨特別警報が発表されました。



## 2. 平成元年9月災害との比較

○上五島地区では、近年最も被害が大きかった平成元年9月災害時と比較すると、降雨量は同程度でしたが、家屋や公共土木施設などの被害が大幅に少なくなりました。

	平成元年 9月12日～13日	令和元年 7月17日～22日
雨量	1h最大 : 114mm 24h最大雨量 : 510mm	1h最大 : 101mm 24h最大雨量 : 447mm
被害	死者 : 4名 家屋被害(浸水) : 1,792戸 家屋被害(土砂) : 87戸 土砂災害 : 144ヶ所 公共土木施設(道路・河川)箇所数 : 376箇所 被害額 : 47.7億円	死者 : 0名 家屋被害(浸水) : 2戸(※) 家屋被害(土砂) : 3戸 土砂災害 : 6ヶ所 公共土木施設(道路・河川)箇所数 : 22箇所 被害額 : 7.7億円

(※)河川氾濫以外の浸水による被害